

【C部門】

まちへ出てみよう！
認知症キッズサポーター

助成団体
松栄グループ株式会社
NPO法人Ubdobe



be Orange



活動の様子

| 活動内容

- ①小学生の子供達35名が「地域福祉新聞記者」となり、親子で商店街を巡り謎解きをしながら取材をしていく。謎解きには認知症や福祉についてのワードを盛り込み、楽しみながら自然と認知症について学ぶ。
 - ②「VR認知症」で認知症を疑似体験。取材での学びとは違う視点での認知症への理解を深める。
 - ③ワークショップ「自分の大切に身近な人が認知症を発症したとき、自分がどう接してあげたいか」
- ①～③を謎解きをしたチームのメンバーと共有することによって自分に出来ることを考えた。

｜活動実施による効果

(地域への影響や認知症当事者の方の変化など)

普段、認知症の方との関わりが少ない小学生親子に参加してもらった。商店街を巡るスポットにはグループホームもあり、実際に認知症の方と話をしたり、実際の福祉の仕事を目の前で見える機会となった。

今回、このイベントを開催するにあたり、長与町教育委員会・介護保険課の方々にもご尽力いただき、参加者・商店街の方々・ボランティア・実行委員として100名以上の方々がイベントに賛同し、関わって下さった。

行政や地域の方々へイベントを周知し、協力をしてもらうことで、認知症についてそれぞれが理解しようという気持ち、出来ることをしていこうという想いを感じた。それが少しずつではあるが、“認知症にやさしいまちづくり”に繋がっていくように思われる。

| 助成金の使用実績

助成額：500,000円

謎解き制作費	129,600円
デザイン費	32,400円
印刷費	21,415円
旅費交通費	191,097円
会場使用料	17,050円
消耗品費	42,110円
荷造運賃費	6,328円
人件費	60,000円
合計	500,000円